

令和 3 年 版

消 防 年 報

第 6 6 号

瀬 戸 市 消 防 本 部

はじめに

この年報は、瀬戸市消防本部における消防力の現状と、令和3年4月1日現在における各種統計を、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に収録いたしました。

消防・防災関係機関の皆様はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、消防行政により一層のご理解とご協力をいただければ幸いに存じます。

令和3年8月

瀬戸市消防本部

一 目 統 計




令和3年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(R2年中) P51
				
	111.40 km ²	129,096 人	57,163 世帯	年平均気温 16.4℃ 年平均湿度 70.5 % 年間降水量 1,531 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	19億 442万8千円 市民1人当たり 14,752円	消防本部 1 消 防 署 1 分 署 2	142 人 (内女性 4 人)	246 人 (内女性 22 人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車 3 台 ポンプ車 4 台	はしご車等 14 台	高規格救急車 5 台	消火栓 2,947 基 防火水槽等 567 基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (令和2年中)	火災 P29	主な火災原因 P30	救急 P38・44	救助 P46・47
				
	25 件 出火率 1.9 件/万人	放火・放火の疑い 4 件 たき火 3 件 たばこ 2 件	出動件数 4,983 件 (13.6 件/日) 搬送人員 4,712 人 現場到着時間 7.2 分	出動件数 73 件 救助人員 33 人

予 防 消防関係団体	防火対象物 P17	査察実施率 P18	危険物施設 P22	消防関係団体 P24-27
				危険物安全協会 304 会 員 自衛消防連絡協議会 18 隊 婦人(女性)防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 25 クラブ 瀬戸防火防災協会連合会 20 連 区 自警団 5 団 防災会 2 会
	4,491 件	8.6%	製造所 3 件 貯蔵所 202 件 取扱所 101 件	

令和2年度のトピックス

1 指令業務のさらなる共同化に向けて

消防広域化の一環として、令和7年4月から名古屋市を含む8消防本部で消防指令業務を共同運用することとしました。

指令業務のさらなる広域化により、人的・財政的効果や災害対応能力の向上が見込まれ、市民サービスの向上が期待されます。



共同指令センター（イメージ）

2 地区防災計画を策定

品野連合自治会、菱野連区自治会及び新郷連区自治会が地区防災計画を策定し、災害対策基本法第42条の2に基づき瀬戸市地域防災計画に定めるための地区防災計画提案書を提出しました。

地区防災計画とは、市町村内の一定地区の居住者や事業者が行う自発的な防災活動に関する計画で、本消防本部では、地域防災力の向上のため、全連区での地区防災計画の策定をめざした支援を平成30年度から行っております。

3 深川分団車両を更新

平成11年から運用していた深川分団車を最新の車両に更新しました。

瀬戸市消防団では、これまで準中型の消防ポンプ自動車を整備してきましたが、運転する消防団員に準中型の運転免許の取得が必要でした。これを軽減するため普通免許で運転できる車両を初めて採用しました。



4 消防本部のPR動画を作成

新型コロナウイルス感染症の影響による行事の縮小で、消防力を公開する機会が失われる中、市民に新しい形で広く消防力・地域防災力を公開できないかを考え、PR動画を作成しました。



こちらから御覧いただけます

目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・令和3年度一般会計当初予算額	1
・令和3年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12・13
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～28）

・連区別防火対象物状況	17
・査察実施率の推移	18
・査察実施計画における査察対象物抽出基準及び実施周期	18・19
・中高層建築物・地階用途別状況	20
・防火管理者選任状況	21
・防火管理講習実施状況	21
・危険物施設等連区別設置状況	22
・危険物施設に関する申請等の件数	22
・危険物施設等の10年間の推移	23
・瀬戸防火防災協会連合会	24
・街頭消火器設置整備事業	24
・瀬戸市危険物安全協会	25
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	25
・自警団	25
・瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	26
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	26
・瀬戸市幼年消防クラブ	27
・防災会	27
・安心・安全トピックス（わんわん消防隊、救急安心たまご）	28

【第4編】火災統計（P 29～37）

・令和2年中の火災発生状況と前年との比較	29
・原因別・用途別火災状況	30
・初期消火実施状況	30
・出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	31
・署所別・連区別火災状況	32
・曜日別・月別火災状況	33
・天候別火災状況	33
・時間別火災状況	34
・10年間の火災状況	35
・10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	35
・10年間の住宅火災の状況	36
・10年間の住宅火災における出火原因別件数	36
・10年間の住宅火災における時間別死傷者数	37
・10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	37

【第5編】救急・救助統計（P 38～47）

・事故種別救急出動件数及び搬送人員	38
・署所別救急出動件数	39
・連区別の老年人口率と救急搬送率	39
・曜日別・月別救急出動件数	40
・時間別救急出動件数	40
・傷病程度別搬送人員	41
・年齢区分別搬送人員	41
・急病にかかる疾病分類別搬送人員	42
・事故種別医療機関別搬送人員	42
・救急隊員の行った応急処置状況	43
・応急手当普及啓発実施状況	43
・救命率の推移	44
・バイスタンダーCPR実施状況	44
・AEDステーション認定事業所数	44
・10年間の現場到着平均所要時間の推移	44
・10年間の救急出動件数	45
・急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	45
・事故別救助出動状況	46
・連区別救助出動件数	46
・発生場所別救助人員	47
・10年間の救助出動件数	47

【第6編】通信・気象（P 48～51）

・消防指令センターの主な施設状況	48
・月別119番受信状況（受信時の種別）	48
・無線施設状況	49・50
・月別気象状況	51
・天候別日数・月別気温状況・月別湿度状況	51

【第7編】資料（P 52～57）

・消防本部の沿革	52～56
・消防相互応援協定	57

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4年		市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
令和 3年		4月1日現在	111.40	129,096	57,163

